

ありがとう

本当にありがとう

かつて一世を風靡したバンドのギタリストが死んだとき

一部のファンは追って自殺を図ったらしい

そんなに愛していたのだろう

そんなに愛していたのだろう

死に損ないの私を連れて行ってくれる誰かに

早く出会いたい

早く

早く

早く迎えに来て

お願い

早く早く早く早く！

もう、私は電車を待つとき、エレベーター前には立てない。

あれほど憧れた姿を見たのに、私はまだ、怖いと思っている。

この世界に別れを告げるには、私はまだ弱すぎる。

いつか私が死ぬ時は

勇気を出して飛ぶときは

誰かの代行になりたい

私の内臓を

骨を

血を

ぐちゃぐちゃのドロドロを

目に焼き付けて

臭いを鼻に覚え込ませて

無様な私に胸を高鳴らせて